



創立・十周年記念に集う！

増尾近隣センター

運営協議会



平成3年11月4日



鈴木真、柏市長 お祝辞

10周年記念式典

市が提唱している地域づくりと、地域活動の拠点として着実な発展を遂げて来た当近隣センターは、昭和56年に発足して早や10周年を迎えました。▶そして日頃よりふれあいの施設として、地域の人達と共に当館の繁栄を願いあらゆる分野で、輪と和の交流を見ながら現在に至っている。従って当館の将来を展望し一つの区切りとして、この度(11月4日)当館創立10周年記念式典を行ないました。▶この式典には鈴木市長をはじめ多くの来賓者・招待者をお迎えして盛大に且つ厳粛に式典の運びとなりました。▶また当館の発展に貢献された方の表彰式も併せとり行った。▶式典終了後、ぐっとムードを変え地元の小中学校(土中・土小・増尾西小)の生徒による吹奏楽を、それぞれの曲で華やかに披露され、式典の盛り上がりを見せてくれました。

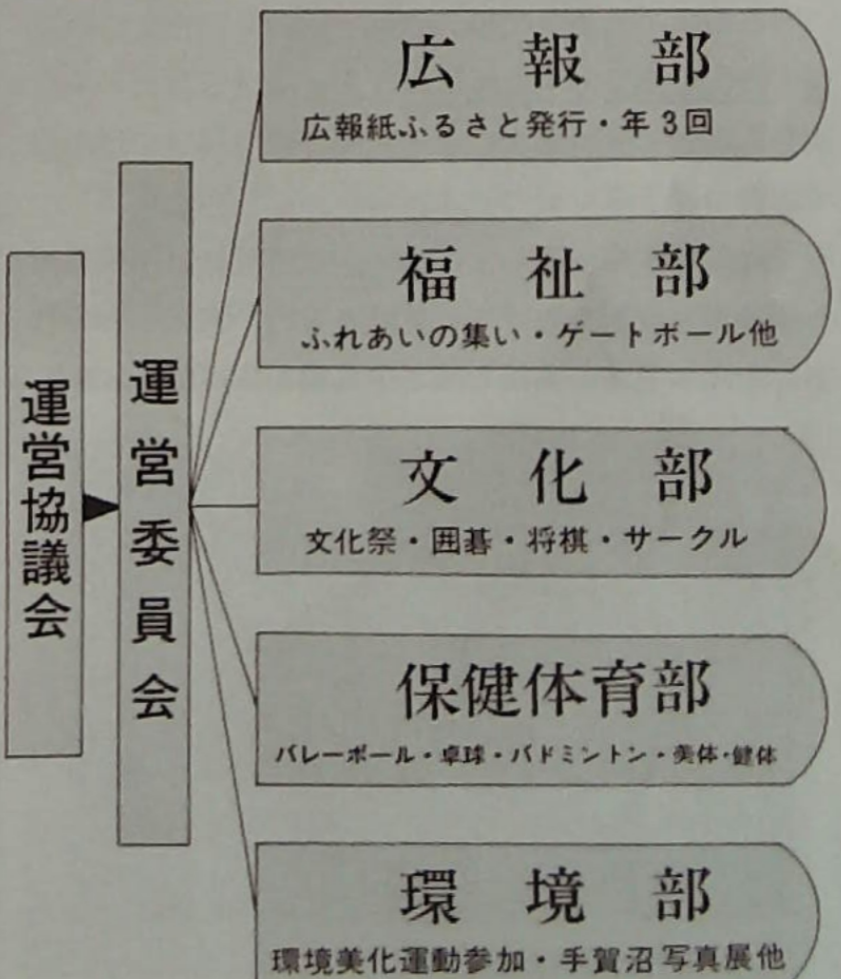
沿革

当協議会及び運営委員会は、地域町会・自治会・諸団体から選出された代表により構成され、5つの部門(広報部・福祉部・文化部・保健体育部・環境部)に分担組織され、夫々の主要事業をとり行っている。また行政機関とも密に連携を保ち各種分野で地域社会に貢献度を高めている。

概要

- 開設年月・昭和56年4月
- 敷地面積・3,289.8㎡
- 構造・鉄骨コンクリート2階建
- 延床面積・1,584.75㎡
- 開館時間・9:00~17:00
(但し火・木・土曜日は21:00)
- 休館日・月曜日と祝日の翌日
12月28~1月4日
- 利用申込み方法・近隣センター受付窓口へ直接

組織



おかげさまで

★ 松野台自治会

ゲートボールの華・緑寿会の仲間達！

増尾台、その中に同居している松野台緑寿会「老人クラブ」のなかで健康を考えると、高令者の運動はゲートボールが最も相応しい。またスポーツとして老人会には定着している。

動作は鈍いが、一生懸命に打球の行方を見つめる真剣な眼ざしは元気いっぱい滄刺としている。

ゲートボールの良いところは男女関係なく競技が出来て基本さえつ



何が私達を熱中させるのでしょうか。

かめば誰とでも出来る。指導は滝口一級審判が、チームをまとめ試合には常に優勝し、また地域では多くの人達と団体との交流と親睦を図り、町内会とは常に信頼関係を大切に願っています。

★ 白鷺町会

町内ぐるみで環境保全に猛進中！

当町会は現在戸数が95戸あります。スタート時は27戸から始まりボツン、ボツンと建てられた新しい若い家族の寄り集った町会でした。

その当時はまだ子供達は幼く活動したくとも地域に詳しい人がおりませんでした。いつの間にか95世帯となり子供会も出来5班に分れて活動する様になり町会としての形がやっと整った感じがする。また班毎の活動は、ゴミ集積所の掃除や残っている空地の草刈り、そのほか早朝より枯葉の除去と側溝の清掃を行っている。

そのほか近隣センターを中心にした「クリーンキャンペーン」の日には持ち廻り当番の家で積み立て予算内で食事会を開きお互いのコミュニケーションとふれあいの輪を広げている。

班の悩みの一つに鈴江運輸前のゴミ集積所に、通りがかりの人のポイ捨てが多く看板で注意を呼びかけているが、無責任な投げ捨てが後をたちません。ふるさとをキレイな街にしたいと努力しており、町会の人達のためにも投げ捨てはやめていただきたいものです。

★ 木戸前町会

床下消毒…雨天奮戦談

私共町会行事で思い出すのは、6月入梅時に実施する床下消毒作業について、市当局に申請希望世帯に応じ市から薬剤の支給と噴霧器の借り入れを指定され(7月14日)床下消毒を実施しました。

今年は異状気象のせいか、非常に雨の日が多く、この日もあいにくの雨模様にもかかわらず、町会役員も雨具を着用して、狭いところを出たり入ったり消毒作業ご苦労様でした。

また消毒日等については前以って回覧板でお知らせしていますが、作業の円滑を考慮して、今後共町会員の方々のご理解とご協力をお願い致します。

木のぬくもりを、肌でかんじ 木彫りに親しむ「木精会」

SPOT 7
文化
サークル

木精会は今から5年ほど前、当館で行った児童対象の版画教室が前身で、その後成人教室として引継がれ現在に至っている。▶会員は男女合わせて15名、平均年齢は00才位かな？普通お年を召したグループかと



木精会(こたま会)仲良しグループの皆さん。

思ったところ意外淑女達の集りでただただビックリ！先づ作品を拝見した処、実用的な作品群が「ズラリ」壁かけ用の小品から美女を写し出す姿見(鏡ワク)と巾ひろい作品群に認識を新たにしました。▶また一彫り二彫りと根気と集中力が作品の出来映えにかかる作業だけに完成した時は又格別でしょう。▶教材は「ホー」の木を主として使われ小品物で2~3日で仕上り大作に挑戦した時は半年から1年はかかるとのこと▶彫刻刀は初心者で4~5本から始まり経験をつむにしたがい何十種類と自然に増えるそうです。▶仕上げは専用のニスを使い色ツヤも一段と映え味わいとその奥はなかなか深い様です。(私もと思う方は「左甚五郎」に挑戦してみませんか。)

木精会▶連絡先・坂田キヨ子 ☎73-1592

★ 増尾南ヶ丘自治会

快適ですばらしい街づくりをスローガンに

昭和54年に当自治会が発足して12年がたちました。「快適ですばらしい街づくりをしよう」をスローガンに私たち会員は常時心掛けてきました。

これも行政と地域の方々の協力とご支援ご理解があったからこそ、ここまで発展することが出来たのではないかと思います。

当自治会の活動として、会長・副会長を中心に親睦係・防災防犯係・環境保全係と夫々が自治会員と共に活発に活動を展開しています。それに事務局の骨折りで活動の様子等を知らせる自治会ニュースを発行して今では118号に達しています。この夏には子供神輿を繰り出し自治会あげての夏祭りを行い隣人とのふれあいを深め意識の高揚を図り乍ら輪を広げたいと思ふ。



夏休みの思い出に。

洗たく講習会

手賀沼の汚染と人体の影響を考え安心して使える粉石けんの「すすめ」をテーマに、この度土農協婦人部が音頭をとり、柏市消費生活コーディネーターと共催で当近隣センターに於て洗濯講習会が開かれました。

この日は子供づれのお母さん、そして大勢の参加者と共に益あって害なしの粉石けんと、合成洗剤の功罪について話が進められ、実際に洗濯機を使って洗剤の選び方と、粉石けんのすぐれた点を見ていただいた。

以下説明会の内容を一部抜粋したものです。

記

- 石けんの歴史は古く今からおよそ5000年前から作られ、人間が火を使う事を知り肉を焼いて食べる様になり肉より落ちる油と灰が反応し焼けた後の土を使うと汚れがおちるとい事が発見された。
- 石けんは「天然の動物性油脂」・「植物性油脂」を原料として作られているので安心して使用出来る。
- 合成洗剤は日本で昭和30年代頃から使われる様になり、今では洗濯用と食器洗いに用いられている。
- 石けんで洗濯した仕上がりや合成洗剤で洗った仕上

9月2日

当近隣センターに於て



真剣なまなざし！

がりを比べて見ると合成洗剤の方が白く見える。これは合成洗剤にだけ入っている「蛍光漂白剤」のしわざである。

- フキン(衣)を合成洗剤で洗い、それに肉まんを包みむした後、肉まんに「ブラックライト器」を近づけると肉まんが青く発光する。「蛍光漂白剤」のしわざである。
- 例として、合成洗剤を使い、しっしんが出来たり赤ちゃんのおむつかぶれなどを起こしたりすることがあり、本当に安全かどうか考えなければならない。出来れば安心して使える洗剤を選びましょう……

'91...創造と潤いの五行事を観る!

敬老会 9/29(日)



私達の晴れ舞台



(敬老会) 盛大とは・集まることなり

体育祭 10/11(金)

各部門の優勝者・入賞者一覧

〈バレーボール〉

参加8チーム (130名)
 予選大会 ・ 9月10日~11日
 優勝決定戦 ・ 10月11日
 三位決定戦 ・ 10月11日
 順位
 優勝 ・ 土小チーム
 準優勝 ・ 酒井根クラブ
 三位 ・ 増尾近隣センターチーム
 四位 ・ はくしんチーム

・ Bブロック 石川シン ・ 坂本恵美
 ・ Cブロック 前島裕美子・木之下由美子
 ・ Dブロック 小倉芳枝 ・ 三上トキ
 四位 ・ Aブロック 福山雪子 ・ 鈴木美恵子
 ・ Bブロック 菊地恵美子・石沢公世
 ・ Cブロック 東 テル子・中村なよ子
 ・ Dブロック 高橋アキ子・小松良江

〈卓球部〉

優勝 ・ Aブロック 前波克子 ・ 篠原ミイ子
 ・ Bブロック 三木純子 ・ 佐藤真知子
 ・ Cブロック 高沢かなえ・養田咲子
 ・ Dブロック 小島綾子 ・ 和田晶子
 準優勝 ・ Aブロック 木下節子 ・ 奥山節子
 ・ Bブロック 山口美千代・橋畑恵子
 ・ Cブロック 瀬戸シゲ子・椎野八重子
 ・ Dブロック 佐藤銀子 ・ 津瑞光恵
 三位 ・ Aブロック 脇田ひろ子・太田礼子

〈バドミントン部〉

優勝 ・ Fチーム 岡室美智代・渡辺和子
 網野なを子・寺脇正子
 佐田三重 ・ 小島京子
 石毛和子 ・ 元山純子
 田中恵美子・新井トミ江
 菅野節子 ・ 渡辺道代
 保田靖子 ・ 酒井始子
 鹿志村由紀子・島田涼子
 佐久間美千代・吉田京子
 高橋和江 ・ 森作紀子
 平山幸子 ・ 浅原美喜子
 伊藤和子 ・ 樋田とみ子



バレーボール優勝・土小チーム



卓球部優勝の皆さん



バドミントン優勝・Fチーム

文化祭 11/3(日)~4(月)



どれもこれも力作ぞろい



力作：股野現三郎さんの「書」

ふれあいの集い 11/3(日)



頑張れ、それ一、お客さんお待ちだよ。

ゲートボール大会 10/20(日)

熱戦順位は次の通りです

優勝 名戸ヶ谷クラブ

監 寺田 照雄 ・ 木村 九平 ・ 酒巻 敏彦
 ・ 木村 友吉 ・ 藪崎 みよ ・ 秋谷 フキ
 ・ 成川 トキ

準優勝 松の台緑寿会

監 小林マサエ ・ 宮本 清 ・ 菊地 ナツ
 ・ 滝口 安子 ・ 中沢 安次 ・ 宮本キノエ

三位 加賀寿楽会

監 高橋ヨシ子 ・ 西 まさみ ・ 斉藤 マス
 ・ 榎木 光吉 ・ 山本 和子

四位 南ヶ丘クラブ

監 倉島 勝治 ・ 田中 義男 ・ 野田 二男
 ・ 安藤 辰吉 ・ 小野寺 宏 ・ 山岸 渡治



「第一ゲート通過」ヤッター!

第7回・手賀沼シンポジウム

… 開く!! (増尾近隣センターに於て)

11/6 (土)

主催・柏市
柏市家庭排水対策等広域推進協議会
後援・増尾近隣センター運営委員会



手賀沼は私たちの心のふるさとです。その手賀沼が近年都市化が進み人口の増加と共に、沼や多くの河川が著しく汚濁化が進んでおり、流域河川(大堀川・大津川)を経て、窒素やリンなどが大量に流れ込み水質の汚れを一層大きくしています。

その汚れの原因は、一般家庭から出る汚れた雑排水の割りあい全体の約80%を占めており、これが河川の汚れの大きな原因となっている。

では家庭で出来る手賀沼浄化対策はどうしたらいいかが、今回の手賀沼シンポジウムのテーマとなり、この日は、大勢の参加者と、基調講演者として本山敬之助農学博士、並びに皆さんお馴染みの美人TVニュースキャスター久和ひとみさんを全体討議司会者としてお招きして、会場の人達と共に意識の高揚を計り乍ら和やかなムードの内に討議が進められました。

★ 加賀町会

賑わいのなかの餅つき大会

餅つき大会を催しました。地域の各種団体から参加して下さった約50人の人達が、前以って準備合せて手際よく二俵の米をつきました。・12月8日(日)加賀第一公園に釜戸の煙りが立ち登りセロに湯気が吹き出て郷愁をさそい力強く臼に杵の音が響き渡った。・また豚汁のおまけがつき、つきたての餅をはほばる顔はどこも笑顔がはじけ、明るい声が飛びかいました。・この餅つきも一時は諦めかけていたが、子供達がかわいそうと云う声で各種団体が立ち上がって行なった催しです。・終わった今、やっぱりやって良かったと感慨ひとしおです。子供達に懐かしい思い出を作ってやれ、大人には地域の連帯感を持ってもらえたと感じます。・そして気づいた事は、これがふるさと作りなのだ云う事で。家庭にあっては、子はかすがい、国にあっては、子は宝と云うならば、地域にあっては、子はふるさとのもと、と言えるのではないのでしょうか。



プログラム		総司会 増尾近隣センター運営委員会 山崎 喜以子
主催者挨拶	柏市長 鈴木 眞	
表彰	「柏の水辺写真コンクール」入賞者	
体験発表	「1年8組手賀沼クリーン作戦」	柏二中学生
基調講演	「手賀沼を救う/雑排水美人から……。一今、ふたたび問う」	千葉県水質保全研究所第三研究室長 本橋 敬之助
休憩	コーヒータイム(「クリーンアップ」上映)	
パネルディスカッション	「増尾発 手賀沼へ雑排水美人の輪を広げよう」	
	コーディネーター ニュースキャスター 久和 ひとみ	
	パネリスト 増尾近隣センター運営委員会 足達 賢	
	増尾地区在住雑排水美人コンテスト入賞者 羽柴 雅代	
	柏市家庭排水対策等広域推進協議会(南郡) 日暮 四朗	
	柏市家庭排水対策等広域推進協議会(京東) 菅原 暎子	
	アドバイザー 千葉県水質保全研究所第三研究室長 本橋 敬之助	
全体討議	参加者全員による全体討議	久和 ひとみ
主催者お礼	柏市家庭排水対策等広域推進協議会会長 吉田 稔	

キレイな手賀沼を

使って手賀沼浄化

適量な石けん

標語

吉田 雅さん

参加者➡募る

平成4年・新春の行事日程

行事名	日時	会場	対象	参加費	申込み
新春 囲碁・将棋 大会	1月26日(日) AM9:00より	増尾近隣 センター (和室)	当近隣センター 区域に在住の方 (50名)	300円	1月8日(水)~10日(金) 費用をそえて直接センターへ (AM10:00~PM3:00)
腰痛予防体操	2月14日(金) PM1:30~3:30	増尾近隣 センター (和室)	一般市民(40名) (体操のできる服装)	無料	2月3日(月) 直接か電話でセンターへ AM9:00から先着順

老人芸能発表大会は3月の下旬、開催予定です。 ●お問い合わせは、増尾近隣センターへ
TEL (74) 7211

★ 増尾東映自治会

相互の連帯と日常活動に目下推進中 /

今年度は当自治会が発足して25周年の区切りの年となりました。今年度より夏祭りが子供会と自治会が共催で行うことになり、より規模の大きいものになった。

8月の終りの1日、子供達はゲームやすいか割りを楽しみ、大人達はカラオケや雑談に花を咲かせた。また子供会の店の隣りに自治会や老人会の店も並び、子供づれのお母さん、「ウチワ」片手のお父さん達で楽しい賑わいの一日だった。

自治会発足当初から在住している方も、最近越して来て間もない方も一緒に力を合わせて、現在の自治会が運営されています。尚、人々が次の世代に何かを残せる様に一生懸命生きる姿と、何か重なるものがあるような気がする。



★ 東武なかはら団地自治会



僕と君とのふるさと、楽しかった夏休み。

当自治会で実施した、平成3年度の年間行事を手短かに紹介します。

記

- ◎7月7日・第一回環境美化として、住民全員参加しての空地の草刈り作業を行った。
- ◎8月25日・隣人との交流を深める納涼大会で子供達と共に輪投げと花火に興じ、その後大人の交流でアルコール片手に懇親会を開く。
- ◎9月15日・敬老の日、長寿を祝い自治会で記念品贈呈。
- ◎10月20日・第二回環境美化で今年最後の草刈り実施。